

## 2009年度

科目名	映像文化 I							
担当教員	江村 公							
配当	日文2		コード	54180				
開期	後期	講時	金曜日4限	単位数 2				
授業テーマ	「アメリカ映画を題材に映画の見方の基礎を学ぶ——現代をテーマに」							
目的と概要	アメリカ映画を題材にさまざまな表現技法の理解を通して、映画の見方の基礎を学ぶことがこの授業の第一の目的である。そのために、映画を鑑賞した後でその構造を振り返り、映画全体とその細部に着目することで、あらすじだけでなく映像や音声といった映画表現に対する感受性を高めてもらいたい。また、映画の背景となっているアメリカの文化の多様性について理解を深め、グローバリズムや現代社会の抱える問題についても考える。							
成績評価法	平常点50%、期末レポート50%(鑑賞した映画についてのコメント含む)							
テキスト	特になし							
参考書	授業中に指示する							
履修に当たっての注意・助言	この授業は多様なテーマの映画を取り上げているので(一部暴力的シーンを含む)、それを理解して受講してほしい。							
講義計画								
第1回はじめに——授業の概要								
第2回家族をテーマに、『イン・ハー・シューズ』の鑑賞(前半)								
第3回映画鑑賞(後半)								
第4回解説とその他の映像の紹介								
第5回環境問題と訴訟劇、『エリン・プロコビッチ』の鑑賞(前半)								
第6回映画鑑賞(後半)								
第7回解説とその他の映像の紹介								
第8回9・11以後のアメリカ、『ランド・オブ・プレンティ』の鑑賞(前半)								
第9回映画鑑賞(後半)								
第10回解説とその他の映像の紹介								
第11回中東問題、『ワールド・オブ・ライズ』(前半)								
第12回映画鑑賞(後半)								
第13回解説とその他の映像の紹介								
第14回グローバリズムとアメリカ映画								
第15回まとめ								